

葉梨西北小の4年生がホタルの幼虫を放流

～地元と協力し、学校で大切に育てたホタルを放流します～

3月9日（水）、葉梨西北4年生が校内で育ててきたホタルの幼虫を葉梨川に放流しました。

葉梨西北小学校では、毎年4年生が総合的な学習「西北の豊かな自然について考えよう」の一環でホタル飼育に挑戦し、講師である白ふじの里・ホタル保存会の皆さんから定期的にご指導をいただけてきました。



4年生は、昨年5月に5年生から飼育方法を引き継ぎ、毎日欠かさず水槽内の水の流れや餌となるカワニナの様子を確認し、週1度の水替えは、全員で協力して手際よく進められるようになりました。

この日、手塩にかけて育ててきたホタルの幼虫を、学校沿いの葉梨川に放流しました。

子どもたちからはホタルの飼育や放流を楽しむ声が聞かれました。

ホタルの飼育方法を学んで、ここまで大きく育てることができてうれしい！
少しでも多くのホタルが成虫になって見られるようになってほしい。



放流まで育てるのは大変だったけれど楽しかった！

ホタル保存会・海野さんは「1年がかりで卵から幼虫まで大きくなった。この経験を下級生に引継ぎ、大人になってもホタルを見たときに思い出してくれると嬉しい。」と学習を振り返りました。

放流したホタルは5月頃より、葉梨川で飛び交う様子が見られるようになるとのことです

